

標準予防策チェックリスト

| 巡視項目 | 巡視項目 | 巡視の視点・根拠 | 自己チェック | | ICTチェック | |
|--------------|---|---|--------|-----|---------|-----|
| | | | 良い | 要改善 | 良い | 要改善 |
| 呼吸器衛生・咳エチケット | ウイルス性の季節的な気道感染症（インフルエンザ、RSウイルスなど）が市中に発生している時は職員・患者、家族・お見舞等の来院者に経路別予防策と手指衛生を強化した教育を実施している | 患者・家族等来院者にも奨める 病院全体で感染対策に取り組み、拡大予防する | | | | |
| | 外来の入り口など効果的と思われる場所に咳エチケットに関するポスターを掲示している | 病院入口・患者待合・病棟掲示板等 病院全体で感染対策に取り組み、拡大予防する | | | | |
| | 呼吸器感染症患者が使用したティッシュ等を捨てるゴミ箱はノンタッチの足踏み式などの物を使用している | フタ付きで手での開閉がないもの 交差感染を予防する | | | | |
| | 外来の待合室や入院病棟の目のつき易い場所に手指衛生の方法などに関する掲示がしてある | アルコール製剤設置場所にある 病院全体で感染対策に取り組み、拡大予防する | | | | |
| | 外来の入り口や、入院病棟の使いやすい場所に擦式アルコール製剤が設置してある。 | 設置場所の確認する 病院全体で感染対策に取り組み、拡大予防する | | | | |
| | 手洗いでできるシンクには手洗い物品が用意されている | ハンドソープ、手拭きペーパー 正しい手指衛生を実施する | | | | |
| | 市中で呼吸器感染症が流行している場合は、咳をしているなどの症状がある来院者にマスクを着用するように促し、場合によっては提供している。 | マスク提供方法の確認 病院全体で感染対策に取り組み、拡大予防する | | | | |
| | 待合を個別にするかできない場合は他の患者と2メートル以上離れた場所を案内している | 遮断があると更によい 感染拡大予防 | | | | |
| 安全な注射手技 | 滅菌されている注射器具を汚染しないような注射手技が徹底され、ミキシング時にはマスク、清潔な未滅菌手袋の装着が確実にミキシングは専用スペースで行い、作業環境下や治療の現場で行っていない | ミキシング周りに物品が準備されている 不適切な手技による血流感染防止 ミキシング室で行っている 不適切な環境からの汚染を防ぐ | | | | |
| | 注射針や注射器は単回仕様であり、別の患者に使用する薬剤や溶液にアクセスしていない | 一患者に使用し、使いまわししていない 複数回の針の刺入による感染リスク | | | | |
| | 注射針や注射器はいったん患者に投与された点滴バッグやセットに接続されたものは汚染されたものと見なし使用していない | 清潔なものを使用している ラインの逆流による感染リスク | | | | |
| | 非経口の薬物療法にはできる限り単回量バイアル製剤を使用している | 清潔なバイアルを使用する 複数回の針の刺入による感染リスク | | | | |
| | 複数回バイアルを使用しなければならない場合、アクセスする針、注射器はその都度滅菌されているものを使用している | 清潔操作で管理出来ている 不適切な手技や時間の経過による細菌増殖のリスク | | | | |
| | 複数回使用するバイアルは治療を行なっている場所には置かず、製造元の奨励する方法（冷所等）で管理している。 | 常温で放置していない 時間の経過による細菌増殖のリスク | | | | |
| | 使用状況が明確でないなど、滅菌の状態が保証できない場合は速やかに破棄している | 保管状況・包装紙の状態・滅菌期限等の確認 不潔な物品を使用する交差感染リスク | | | | |
| | 注射液のバッグまたはボトルを複数の患者へ共通の供給源として使用していない（生理食塩液などを溶解液として使用するなど） | 一患者専用になっている 複数回の針の刺入による感染リスク | | | | |

| | | | | | | |
|------------------------|--|---|--|--|--|--|
| 腰椎 置 穿 刺 処 | 脊柱管や硬膜外スペースにカテーテルを留置したり注射をする際 (ミエログラフィー、腰椎穿刺、脊椎麻酔、硬膜外麻酔) は実施 者、介助者はサージカルマスクを装着している | 両者がサージカルマスクを装着している 実施中の会話による唾液の飛沫感染リス ク | | | | |
| | 上記操作は、滅菌手袋を装着し皮膚消毒後実施している | 清潔操作が行えている 細菌感染リスク | | | | |